



緑の苑調査特別委員会設置を求める決議

全会一致で可決 閉会中の調査へ

議長を除く13人で構成

委員長に杉原委員、副委員長には橋本委員

町は、特別養護老人ホーム緑の苑の民間移譲計画を明らかにしており、平成21年度からの移譲を目的に関係者との協議を進めていく方針であることから、議会としても緑の苑の運営等に関して独自に調査する必要があるとして、吉住議員他12人より「美幌町立特別養護老人ホーム緑の苑調査特別委員会設置に関する決議」が提出され、全会一致で可決。議長を除く全議員13人で構成する特別委員会を設置し、調査が終了するまで閉会中の継続調査を行うこととなりました。

■施設の概要

施設の種類	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)
名称	緑の苑
所在地	美幌町字美富9番地2
開設年月	昭和51年4月
建物面積	3,249.72平方メートル
入所定員	104床 (長期84、短期16、短期生活支援4)
居室数	31室 (4人22室、2人7室、1人2室)
職員の配置	41名 (正職10名、臨職30名、嘱託1名)

■入苑者の状況

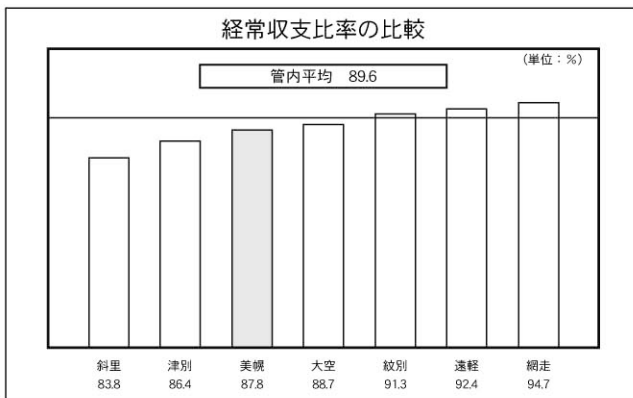
	人数	平均年齢	最高齢
男性	22名	72.18歳	98歳
女性	62名	86.55歳	101歳
計	84名	83.95歳	

(平成20年4月1日現在)

■待機者の状況

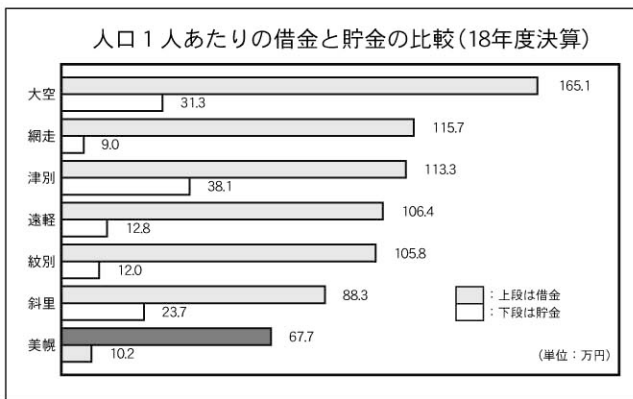
	人数	待機先
町内	125名	在宅：51名 老健：30名 病院：54名
町外	30名	グループホーム：15名 その他：5名
計	155名	

(平成20年4月1日現在)



※経常収支比率

毎年決まって支払うお金を、毎年決まって入ってくるお金で割り返した数値。この数値が低いほど様々な事業を行う余裕があることになる。一般的には70%程度が妥当とされており、美幌町は管内平均を下回ってはいるものの、標準値を大きく上回る水準にある。



※借金と貯金の比較

一般会計における人口1人あたりの借金(地方債残高)と貯金(基金)の額を示したもの。借金・貯金の額はいずれも管内市町村の下から2番目に位置する。一般会計の借金の総額は153億円、全ての会計を含めた借金の総額は283億円である。

美幌町
高齢者保健福祉計画
第3期介護保険事業計画
(一部抜粋)

◆施設介護サービス(介護老人福祉施設)
介護老人福祉施設とは、介護保険の要介護1以上の認定を受け、常時介護を必要とし、在宅での生活が困難な寝たきりや認知症等の高齢者に対し、生活の場を提供する施設であり、町内においては「緑の苑」が該当する。
介護老人保健施設や介護療養型医療施設に比べ、身近にあることや入所期間の制限がないことなどから利用希望は多いことなどから利用希望は多い。

今後、個室ユニット化やサテライト型への改築も視野に入れながら、入所者一人ひとりの個性や生活のリズムを尊重した個別ケアを目指したいが、新たな施設整備には全国的な視野での協議が必要であり、現状では困難な状況にある。
このため、要介護者の状態に依りて、他の介護施設サービス等の活用や在宅介護サービス等が必要になってくるものと考えられる。

美幌町の財政状況